

『北駿郷土研究』（のち『富士山』と改題）総目次

畠堀操八（2024年7月）

北駿郷土研究会の機関誌『北駿郷土研究』は、1933年（昭和8年）11月に創刊号が発行され、1935年（昭和10年）1月に『富士山』と改題、1936年（昭和11年）10月、第36号をもって廃刊となった。そして1995年（平成7年）11月『北駿郷土研究（富士山）』として全巻の復刻版が出版された。

なお、『富士登山御殿場口 第八号 北駿郷土研究特輯号』（昭和9年6月1日発行）は『北駿郷土研究 第八号 第弐年 六月号』（昭和9年6月1日発行）の表紙のみ貼り替えて増刷されたものであり、復刻版には収録されていない。

また御殿場市立図書館蔵架の原本コピー合本の『富士山（北駿郷土研究改題）第25号～第36号』所収の小冊子『富士山 御殿場口とその附近 富士山号外』（昭和11年6月1日発行）も復刻版には収録されていないが、いずれもこの総目次では拾ってある。

当初この総目次は、御殿場市立図書館本館蔵架の原本コピー版の目次からOCRを使って起こしたが、余りにも誤植や省略が目立ったので、復刻版を全ページめくって本文表記を確認して正確を期した。人口に膚炙している有名人の省略呼称については〔 〕でフルネームを補った。

間違い、お気付きの点などあればご指摘いただきたい。

■『十一月号 創刊号』

大森道光頼春寄進状	表1
北駿郷土研究会々則	表2
明治天皇御製	一
北駿郷土研究会創設を祝す	秋口常太郎 二
祝=北駿郷土研究会機関雑誌之創刊	渡辺誠道 二
北駿郷土研究会誌の発刊を祝し併せて	
小田原城主大森氏のことを述ぶ	滝口源太郎 三
裾野の伝説 王子ヶ池	鈴木重徳 七
富士附近に於ける地質に就て	高橋覚太 九
戦国初期御厨を中心とする	
武田北条両雄の交戦（一）	史考子 一〇
建武彰忠	史考子 一〇
富士山道者争奪異聞	林苔郎 一二
富士山南表登山道沿革大要（一）	須山村保勝会 一四
不尽俳壇	一四
編輯後記	一六
双樹居日記	苔郎生 表4
昭和8年11月1日発行	
発行編輯兼印刷人 田原林太郎	

発行所

北駿郷土研究会

■『北駿郷土研究 第二号 第壱年 十二月号』

表紙写真の説明〔白旗神社社宝〕

表2

明治天皇御製	一	
忠臣藤原為冬卿と竹之下合戦	高橋美策	二
戦国初期御厨を中心としたる		
武田上杉の交戦（二）	史考子	五
裾野の伝説 但称寺の供養塔	加膝令羊	六
北駿紀行	片岡永左衛門	八
富士山南表登山道沿革大要（二）	須山村保勝会	一〇
不尽俳壇		一〇
竹之下合戦の跡をめぐりて	林苔郎	一一
郷土資料展覧会の主なる出品目録		一三
郷土資料展覧会の報告	林苔郎	一三
皆様お達者ですか	杉山廸教	一四
富士山麓裾野陸軍演習場に建立		

されたる日射病犠牲者弔魂碑	加藤英男	一五
編輯後記		一六
会報		一六
富士と裾野と	苔郎作	表4

昭和8年12月1日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所

北駿郷土研究会

■『北駿郷土研究 第三号 第二年 新年号』

表紙写真の説明〔宝持院制札〕

表2

年頭のことば		一
北条家のことども	滝口源太郎	二
郷土愛に就いての一考察	加藤令洋	五
金色の夜雨	鈴木重徳	一六
竹の下合戦の跡を弔ふ	長田登雄	八
たかね日記	〔稻葉丹後守正通〕	九
芹沢上等兵の村葬〔芹沢好一〕		一一
岳南乃木祭の例祭に参列して		
大谷幸四郎閣下の講演を聴く	加藤英男	一二
嶺麓の伝説を拾ふ	林苔樓	一四
不尽俳壇		一四

郷土ニュース	一六
編輯後記	一六
会報	表 3
新春の句	苔郎作 表 4

昭和 9 年 1 月 1 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『北駿郷土研究 第四号 第式年 二月号』

北条氏五代の墓	表 1
表紙写真の説明	表 2
古文書考（一）	一
北条家のことども（承前）	滝口源太郎 二
後西天皇の御親筆と	
坂本家の系譜について	調査部 四
米山蓉谷先生に就て	小沢清躬 五
裾野の伝説 高橋と猿橋	高峰裳人 八
横走ノ関	池谷史考 一〇
郷土の誇り 故芹沢十四雄翁	鈴木重徳 一二
嶺麓の伝説を拾ふ その二	林苔楼 一四
不尽俳壇	一四
郷土ニュース	一六
編輯後記	表 3
大寒句抄	苔郎生 表 4

昭和 9 年 2 月 1 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『北駿郷土研究 第五号 特輯号』（建武中興・竹の下合戦六百年記念号）

白旗神社碑面	表 1
表紙写真説明	表 2
二条家略系譜	一
建武中興六百年記念祭	
二条中将藤原為冬六百年祭	
奉讚会について	稻佐太郎 二
六百年祭に会して	高橋美策 二
建武中興六百年を迎へ奉りて	秋口常太郎 三
竹之下合戦六百年祭	

奉讚会の成立に賛す	滝口源太郎	四
二条為冬卿之御精神	渡辺誠道謹述	五
白旗神社史蹟調査書	渡辺誠道	五
錦の御旗・粟飯・萩の箸	古見豆人	一六
建武中興六百年記念祭		
二条中将藤原為冬六百年祭		
奉贊会趣意書		
奉贊会会則		一八
奉贊会役員名録		二〇
郷土ニュース		表3
編輯後記		表3
芙蓉の靈峰	古見豆人	表4
昭和9年3月1日発行		
発行編輯兼印刷人	田原林太郎	
発行所	北駿郷土研究会	

■『北駿郷土研究 第六号 第弐年 四月号』

[弥生式土器]		表1
表紙写真 弥生式土器と其出所	滝口源太郎	表2
古文書考（二）		一
北駿の恩人		
贈従五位 伊奈忠順の社会事業	清水吉彦	二
建武中興竹之下合戦		
六百年記念特輯号ヲ顧ミテ	渡辺誠堂	六
小宮山丹後守と忍場清左衛門	史考子	五
横走の関址をたづねて	長田登雄	八
九頭龍山の由来	鈴木重徳寄	九
北駿郷土研究会に望む	川島五作	一一
私の伝説を書く心持	鈴水重徳	一一
山麓の春	苔郎生	一二
義人伊奈半左衛門	高峰裳人	一三
民政資料 報徳米御拝借証文之事		一四
不尽俳壇		一四
嶺麓の伝説を拾ふ その三	林苔樓	一六
編輯後記		表3
[小野屋薬局広告]		表4
昭和9年4月1日発行		
発行編輯兼印刷人	田原林太郎	
発行所	北駿郷土研究会	

■『北駿郷土研究 第七号 第弐年 五月号』

[故伴野佐吉翁の追憶原稿]	表 1
表紙写真説明	表 2
質疑応答欄新設	表 2
古文書考（三）	一
横走閑址参考史（上）	渡辺誠道……二
富士山東表口の開鑿人	
故伴野佐吉翁の追憶	伴野京治……六
孝子佐五右衛門	長田登雄…一二
在満土屋喜一中尉よりの通信	一三
義人伊奈半左衛門（二）	高峰裳人…一四
不二俳壇	一四
嶺麓の伝説を拾ふ その四	林苔樓…一六
編輯後記	表 3
初夏のあした	林苔郎 表 4
昭和9年5月1日発行	
発行編輯兼印刷人	田原林太郎
発行所	北駿郷土研究会

■『北駿郷土研究 第八号 第弐年 六月号』

富士山頂の日の出	表 1
富士開山 県会議員・御殿場町長 稲葉五三郎	表 2
富士開山について	
富士山御殿場口登山営業組合長 鈴木正治	一
登山道としての御殿場道 その基本的調査	二
岳麓の名勝史蹟〔御殿場町〕	長田登雄……五
富士の高山植物 其一	北仙堂主人…一〇
受給事変 藤原宗行卿のこと	滝口源大郎…一二
郷土に於ける民間気象観測	玉穂村小学校稿…一四
富士の伝説 女人禁制	鈴木重徳…一六
御殿場駅前旅館宿泊料其他物価賃金表	
御殿場口富士山内休伯所各室諸物価表	
御殿場駅発汽車時間表	一九
編輯後記	表 3
富士五湖と箱根温泉……（構内自動車営業案内より）	表 4
昭和9年6月1日発行	
発行編輯兼印刷人	田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

[この号『北駿郷土研究 第八号 第弐年 六月号』の2~17ページの第3段目すべて、
および20ページの全3段は広告で埋められている]

[この号『北駿郷土研究 第八号 第弐年 六月号』の表紙を張り替えたものが次の『富士登山御殿場口 第八号 北駿郷土研究特輯号』であり、内容はまったく同一である。]

■『富士登山御殿場口 第八号 北駿郷土研究特輯号』

〔富士登山者のカット〕 表1

富士開山 県会議員・御殿場町長 稲葉五三郎 表2

富士開山について

.....富士山御殿場口登山営業組合長 鈴木正治.....一

登山道としての御殿場道 その基本的調査.....二

岳麓の名勝史蹟〔御殿場町〕長田登雄.....五

富士の高山植物 其一.....北仙堂主人.....一〇

受給事変 藤原宗行卿のこと滝口源大郎....一二

郷土に於ける民間気象観測.....玉穂村小学校稿....一四

富士の伝説 女人禁制.....鈴木重徳....一六

御殿場駅前旅館宿泊料其他物価賃金表

御殿場口富士山内休伯所各室諸物価表

御殿場駅発汽車時間表.....一九

編輯後記.....表3

富士五湖と箱根温泉.....(構内自動車営業案内より) 表4

昭和9年6月1日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■『北駿郷土研究 第九号 第弐年 七月号』

故東郷元帥書 (本文参照) [東郷平八郎] 表1

質疑応答 渡辺大人の『横走関址参考史』(上)に及ぶ質疑 足柄 鈴木信夫

答 晴堂晚生 表2

古文書考 (四)

横走関址参考史 (中)渡辺誠道.....二

横走の関、駅について苔郎生.....五

承久事変 藤原光親卿.....滝口源大郎.....六

▽池谷文書中の記事に就き質す清水吉彦.....八

古墳・觀測所・風穴長田登雄.....九

東郷元帥と北駿の地高峰裳人....一一

富士の高山植物 其二.....北仙堂主人....一二

小宮山丹後守と内膳正	池谷史孝子	一四
郷土の匂ひ	玉穂校生徒	一四
裾野の伝説 牛ヶ淵の怪	鈴木重徳	一六
編輯後記		表3
金魚玉	林苔郎	表4

昭和9年7月1日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■『北駿郷土研究 第十号 第式年 八月号』

[深沢城址]		表1
御殿場温音頭の誕生	林苔郎	表2
古文書考（五）		一
横走関址参考史（下）	渡辺誠道	二
武田氏と北条氏との関係	滝口源太郎	六
このごろのことゞも	杉山迪教	八
岳麓の名勝史蹟（二）須走村の部	長田登雄	九
巖寒の富士山頂に野中氏を訪ぶ		
〔野中至〕 〔勝又恵造〕	玉穂小学校稿	一一
深沢城	郡誌より転載	一一
靈験 弘法井戸	鈴木重徳	一三
大森氏の足柄郡の築城	片岡永左衛門	一五
富士山御殿場音頭		一六
編輯後記		表3
旅の印象	林苔郎	表4

昭和9年8月1日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■『北駿郷土研究 第十号 第式年 九月号』

[前後の並び、発行日から類推してこの号は第十一号]

深沢城絵図（本文深沢矢文参照）		表1
湯立祭の神事	林苔郎	表2
古文書考（六）		一
横走駅及び横走関の研究		
－位置の問題について－	皆川剛六	二
深沢矢文		四
富士山雑話（一）富士の名称	大中空峰	七

岳麓の名勝史蹟（三）高根村の部	長田登雄	九
新会員紹介		一〇
富士山麓に自生する薬用植物に就いて	原田友由	一一
義人伊奈半左衛門（三）	高峰裳人	一二
富士山中道十三里	鈴木重徳	一四
編輯後記		表3
お中道めぐり	勝亦緑仙	表4

昭和9年9月1日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■『北駿郷土研究 第十二号 第弐年 十月号』

最近の野中到翁肖像（大森氏筆）とその風懐=記事参照	表1
東山学労窟偶成	玄々居士 表2
古文書考（七）	一
横走駅及び横走関の研究	
－位置の問題について－	皆川剛六 二
足柄古関と碓氷峠に対する史蹟考察	渡辺誠道 四
富士山雜話（二）富士山の異名異字	大中空峰 七
野中到翁を訪ぶ	大森海門 九
社告	一〇
岳麓の名勝史蹟（四）北郷村の部	長田登雄 一〇
裾野時雨 鉄砲心中	裾野暁鴉 一三
社告	一五
編輯後記	表3
すこやかなる秋	林苔郎 表4

昭和9年10月1日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■『北駿郷土研究 第十三号 第弐年 十一月号』

富士山麓須走登山口に建てられたる親日米人お札博士スタール翁の記念碑除幕式	表1
寿多有翁の記念碑〔スタール博士〕	林苔郎 表2
古文書考（八）	一
横走駅及横走関の研究	
－位置の問題について－	皆川剛六 二
富士山雜話（三）富士の成因	
浅間神社と木花開耶姫命（2）	大中空峰 七
野中到翁を訪ぶ	大森海門 八

富士山麓に自生する薬用植物について	原田友由	九
岳麓の名勝史蹟（五）小山町の部	長田登雄	一〇
裾野の伝説 二之岡の雷神	鈴木重徳	一五
第二回郷土資料展覧会		一五
編輯後記		表3
身にあまるさち	林苔郎	表4

昭和9年11月1日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■『北駿郷土研究 第十四号 第弐年 十二月号』

[御殿場スキー場]		表1
御殿場線第一日の印象	林苔郎	表2
古文書考（九）		一
北駿の考古学的一考察	後藤守一	二
富士山雑話（四）浅間神社と木花開耶姫命（2）		
信仰の沿革と初期登山者（1）	大中空峰	五
岳麓漫歩ところゞゝゝ	大森海門	七
長沢甘利氏に就て	贊川邦作	九
第二回郷土資料展覧会		
第一回総会経費収支決算報告		一〇
富士紡生るゝ頃	富士紡小山工場寄	一一
北駿捕物帖 勇婦 鉄火のお政	鈴木重徳	一二
編輯後記		表3
冬木彫	林苔郎	表4

昭和9年12月1日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■北駿郷土研究改題『富士山 第十五号 第三年 一月号』

[富士山絵]		表1
改題のことば	林苔郎	表2
題字	野中到	
表紙絵	大森海門	
古文書考（一〇）		一
二枚橋の古墳に就て	伴野京治	二
富士山雑話（五）		
信仰の沿革と初期の登山者（2）	大中空峰	五

富士紡生るゝ頃（二）	富士小山工場寄	九
岳麓の名勝史蹟（六）足柄村の部	長田登雄	一三
伊奈忠勝氏逝去		一六
御山の巖瀬	大森海門	一七
初春五題	壺鳴庵	二〇
編輯後記		表3
燃ゆる富士	苔郎	表4

昭和10年1月1日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■『富士山 第十六号 第三年 二月号』

[前号と同じ富士山絵]		表1
[農士道場発会式についてのコメント]		表2
題字	野中到	
表紙絵及カット	大森海門	
古文書考（一一）		一
民政資料 御定免延期歎願書	池谷次郎（蔵）	二
富士山雑話（六）		
信仰の沿革と初期の登山者（3）	大中空峰	五
高嶺の白雪	野中到	七
昭和九年回顧（上）		八
御山の巖瀬（二）	大森海門	九
鈴生		一〇
富士紡生るゝ頃（三）	富士小山工場寄	一一
北駿新十勝地を募る	北駿郷土研究会	一三
岳麓の名勝史蹟（七）玉穂村之部	長田登雄	一三
御殿場句会抄		一七
富士箱根山麓に自生する		
薬用植物に就て（3）	原田友由	一八
裾野の伝説 噛むる獅子	鈴木重徳	二〇
農士道場に於ける感想	山田誠	二三
編輯後記		表3
元日の御旗	苔郎	表4

昭和10年2月1日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 第十七号 第三年 三月号』

[前号と同じ富士山絵]	表 1
川島五作先生を送る	林苔郎 表 2
題字	野中到
表紙絵及カツト	大森海門
古文書考 (一二)	一
青年と郷土研究	川島五作 二
一月号所載二枚橋古墳名に就て	陸田翁 (投) 四
富士山雑話 (七)	
信仰の沿革と初期の登山者 (4)	大中空峰 五
子規松蘿玉液より	七
御山の巖肅 (三)	大森海門 八
昭和九年回顧 (下)	九
富士見八景	一二
岳麓の名勝史蹟 (八) 印野村之部	長田登雄 一三
富士紡生るゝ頃 (四)	富士紡小山工場寄 一六
雪の金時山	壺鳴庵 一九
富士山会俳句抄	二〇
郷土の人 岩田元兄博士を語る	高峰裳人 二一
『北駿新十勝』誌上推薦	大森桃太郎 (投) 二三
編輯後記	表 3
冴ゆる灯火	苔郎 表 4
昭和 10 年 3 月 1 日発行	
発行編輯兼印刷人 田原林太郎	
発行所 北駿郷土研究会	

■ 『富士山 第十七号 第三年 四月号』

[前後の並び、発行日から類推してこの号は第十八号]

[前号と同じ富士山絵]	表 1
沼田の湯立祭	林苔郎 表 2
題字	野中到
表紙絵	大森海門
古文書考 (一三)	一
富士山出現	
輿権地蔵尊略縁起	卓錐山地蔵禪院 (藏版) 二
伝説 きやり地蔵	加藤英男 三
御山の巖肅 (四)	大森海門 四
富士山雑話 (八) 所謂富士講について	大森空峰 七
富士に因める狂歌	古今夷曲集より 一〇

政要目安鏡（一）	勝又はま氏（蔵）	一一
富士に因める狂句	文化文政時代の作	一三
富士紡生るゝ頃（五）	富士紡小山工場寄	一四
伝説 役の行者	壺鳴庵	一六
俳句を募る		一七
きやり地蔵尊に就て	高峰裳人	一八
北駿新十勝 誌上推薦		
鑓子山の眺望	大森桃太郎 投	一九
竹の下合戦余聞 興雲寺の鐘（上）	鈴木重徳	二〇
子規の松蘿玉液より		二二
北駿郷土研究会原里支部座談会	一記者	二三
富士山俳句抄		二四
編輯後記	表 3	
春宵惡夢	苔郎	表 4

昭和 10 年 4 月 1 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 第十九号 第三年 五月号』

〔前号と同じ富士山絵〕	表 1
公時神社鎮座祭に列して所感	林苔郎 表 2
題字	野中到
表紙絵	大森海門
古文書考（一四）	一
私は富士山をかく思ふ	田原林太郎 二
日吉白夜先生歓迎句会	四
政要目安鏡（二）	勝又はま氏（蔵） 五
岳麓の名勝史蹟（九）原里村之部	長田登雄 八
伝説椿姫妙明神の由来	壺鳴庵 九
富士・箱根山麓に自生する	
薬用植物に就いて	原田友由 一〇
富士紡生るゝ頃（六）	富士紡小山工場寄 一三
富士山雑話 所謂富士講に就て（一）	大中空峰 一六
声が塚にまつはる伝説	壺鳴庵 一八
富士裾野陸軍廠舎建設の頃を語る（一）	菅沼武男 一九
竹の下合戦余聞 興雲寺の鐘（下）	鈴木重徳 二一
富士山会俳句抄	二四
編輯後記	表 3
晩春煙霞	苔郎 表 4

昭和 10 年 5 月 15 日発行
発行編輯兼印刷人 田原林太郎
発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 御殿場口とその附近』

御殿場東山湖より見たる富士……………表 1

富士登山……………下山の御殿場口

山上の奇觀

御殿場駅時刻表

富士山御殿場音頭

昭和 10 年 6 月 8 日発行

北駿郷土研究会編

富士山御殿場口営業組合発行

[この号は本誌よりちょっと小さい冊子でありノンブルは打ってない。復刻版には収録されていない。御殿場市立図書館蔵架の合本では『北駿郷土研究 第 1 号～第 13 号』所収の『北駿郷土研究 第十三号 第式年 十一月号』（昭和 9 年 11 月 1 日発行）の 12～13 ページに挟まれているが、発行の年月日から考えると、次項掲載の『富士山 第二十号 第三年 六月号』（昭和 10 年 6 月 15 日発行）に挟みこまれていたと考えるべきであろう。なお同冊子にはノンブルが打たれていないので断言はできないが、一部ページ渡りの文章に繋がりがない部分があるので、欠落があるものと思われる。]

■ 『富士山 第二十号 第三年 六月号』

[前号と同じ富士山絵] 表 1

大楠公を追慕し奉る歌〔楠木正成〕 ………………表 2

題字……………野中到

表紙絵及カツト……………大森海門

古文書考（一五）……………一

大楠公を思ふ……………日吉白夜……二

政要目安鏡（三）……………勝又はま氏（藏）…五

岳麓の名勝史蹟（一〇）富士岡村之部……長田登雄……八

北駿地方 竹行李の由来（一）……………伴野京治…一一

秋雨会五月例会……………一四

富士山雜話 所謂富士講に就て（二）……大中空峰…一五

富士裾野 陸軍廠舎建設の頃を語る（二）菅沼武男…一七

裾野の伝説 富士の巻狩……………鈴木重徳…一九

鈴川遊記……………長田生…二三

富士山会俳句抄……………二四

編輯後記……………表 3

ぢひき音頭〔地引網音頭〕 苛郎...表 4

昭和 10 年 6 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 第二十一号 第三年 七月号』

[前号と同じ富士山絵] 表 1

郷土の美化運動 林苔郎 表 2

題字 野中到

表紙絵及カツト 大森海門

永原古戦場を表示せる灯籠 梅本忠男撮影 口絵

郷土の美化運動 お願ひ 口絵裏

古文書考 (一六) 一

ある先生のお話 (一) 壺鳴庵筆記 二

富士開山に就て鈴木組合長の挨拶 四

北駿地方 竹行李の由来 (二) 伴野京治 五

政要目安鏡 (四) 勝又はま氏蔵 八

富士・箱根山麓に自生する

薬用植物に就いて (5) 原田友由 一一

楠公六百年記念事業費寄附御芳名 一四

富士山雑話 所謂富士講について (三) 大中空峰 一五

鈴川遊記 長田生 一七

鈴川遊記 (承前) 長田生 一七

富士裾野 陸軍廠舎建設の頃を語る (三) 菅沼武男 一九

姫ヶ滝の由来 長田登雄 二一

富士 北村透谷 二二

御殿場テクロ一會 佐藤大二 二三

編輯後記 表 3

つゆの晴れ 苛郎...表 4

昭和 10 年 7 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 第二十二号 第三年 八月号』

[前号と同じ富士山絵] 表 1

登山景気を顧る 林苔郎 表 2

題字 野中到

表紙絵及カツト 大森海門

古文書考（一七）	一
ある先生のお話（二）	壺鳴庵筆記 二
岳麓の名勝史蹟（一一）須山村之部	長田登雄 六
北駿地方 竹行李の由来（三）	伴野京治 九
楠公六百年祭記念事業費寄附御芳名	一二
富士山雑話 所謂富士講について（四）	大中空峰 一五
刀圭界美談 勝田医学士〔勝田博〕	壺鳴庵 一六
富士裾野 陸軍廠舎建設の頃を語る（四）	菅沼武男 一七
伝説 乙女峠	鈴木重徳 二〇
漢詩 足柄拾遺	二三
雜詠	二四
編輯後記	表 3
春の句帖より	苔郎 表 4

昭和 10 年 8 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 第二十三号 第三年 九月号』

[前号と同じ富士山絵]	表 1
悼中村御殿場助役	林苔郎 表 2
題字	野中到
表紙絵及カツト	大森海門
古文書考（一八）	一
ある先生のお話（三）	壺鳴庵筆記 二
富士山雑話 一般的文学に就て（一）	大中空峰 五
富士山俳句	九
岳麓の名勝史蹟（十二）富岡村之部	長田登雄 一〇
北駿地方 竹行李の由来（四）	伴野京治 一三
寄贈書籍並雑誌	一三
富士・箱根山麓に自生する 薬用植物に就て（7）	原田友由 一六
富士裾野 陸軍廠舎建設の頃を語る（五）	菅沼武男 一九
東山学労窟即事	加藤玄智 二一
富士の脚を行く	鈴木重徳 二二
編輯後記	二四
初秋の銀嶺	苔郎 表 3

昭和 10 年 9 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■『富士山 第二十四号 第三年 十月号』

[前号と同じ富士山絵]	表 1
勝亦國臣翁を悼む……………林苔郎	表 2
題字……………野中到	
表紙絵及カツト……………大森海門	
古文書考（一八）……………一	
古墳祭祝詞……………二	
ある先生のお話（完）……………壺鳴庵筆記……四	
和歌……………六	
政要目安鑑（六）……………勝又はま氏（藏）……七	
山莊霖雨……………加藤玄智……九	
富士山雑話 一般的文学に就て（二）……………大中空峰…一〇	
渥美勝先生の碑を訪ぶ……………林苔郎…一二	
会員消息……………一四	
岳麓の名勝史蹟（十三）深良村之部……………長田登雄…一五	
足柄山……………一八	
富士の脚を行く……………鈴木重徳…二二	
編輯後記……………二四	
世附峠より三保へ……………苔郎…表 4	

昭和 10 年 10 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■『富士山 第二十五号 第三年 十一月号』

[前号と同じ富士山絵]	表 1
御殿場校当局の活眼……………林苔郎	表 2
題字……………野中到	
表紙絵及カツト……………大森海門	
古文書考（一九）……………一	
富士野往来……………松岡洋右氏藏……二	
「横走閥址」の再検討……………池谷史考……五	
紅葉抄……………杉山人也……七	
岳麓の名勝史蹟（十四）	
泉村之部 小泉村之部……………長田登雄……八	
更生美談 下古城の新設水路……………裾野曉鴉…一一	
御殿場町に於ける西南之役従軍者……………伴野京治…一三	
青龍寺詩（蘇峰詩集より）……………一四	

[徳富蘇峰]

富士山雑話 一般的文学に於て（三）	大中空峰	一五
中駿に於ける伝説二つ	壺鳴庵	一八
北駿地方に於ける苹果の栽培（上）	戸塚静	二〇
名士の手紙〔西園寺公望〕	双樹生	二三
会員消息・寄贈書籍・編輯後記		二四
たける秋	苔郎	表4

昭和 10 年 11 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 第二十六号 第三年 十二月号』

[前号と同じ富士山絵]		表1
歳暮のことば	林苔郎	表2
題字	野中到	
表紙絵及カツト	大森海門	
古文書考（二〇）	藤曲芳邦氏（蔵）	一
富士野往来（二）	松岡洋右氏（蔵）	二
東海道原宿助郷の範囲		
東海道原宿助郷村一覧表	渡辺亀一	五
横走駅及横走関（上）	天野隆義	八
あの頃の北駿新聞より		九
富士山雑話 一般的文学に就て（四）	大中空峰	一〇
岳麓の名勝史蹟（十五）	長泉村之部	一三
北駿地方に於ける苹果の栽培（下）	戸塚静	一六
ある時	芝つゆ子	一八
富士裾野 陸軍廠舎建設の頃を語る（六）	菅沼武男	一九
中山のお諏訪さま	壺鳴庵	二二
会員消息・寄贈書籍・会費領収通知・編輯後記		二四
大気はしまる	苔郎	表4

昭和 10 年 12 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 第二十七号 第四年 一月号』

[永原古戦場]		表1
謹而新年を賀し奉る	『富士山』編輯同人	表2
題字	野中到	
表紙絵及カツト	大森海門	

「富士国立公園」たるべし	一	
靈峰富士と日本精神	日吉白夜	二
日米親善		
石の答礼使を富士山頂に求めて	加藤誠平	四
石の使節へ〔レニア山〕	佐藤与作	六
第三回郷土資料展覧会収支決算報告		六
富士山の感想	天野三郎 袴田芳野	八
富士国立公園座談会に出席して（一）	長田登雄	九
富士山太郎坊	塩川孝	一二
富士山雑話 一般的文学に於て（五）	大中空蜂	一三
裾野哀話 加古城の吹雪	鈴木重徳	一六
横走駅及横走関（中）	天野隆義	二〇
温床の踏みこみに就て	戸塚静	二三
富士山に寄する心	加藤英男	二六
会員消息・寄贈書籍・会費領収通知・編輯後記		二八
海上雲遠	苔郎	表4

昭和 11 年 1 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 第二十八号 第四年 二月号』

〔永原古戦場〕	表 1	
春日灯籠めぐり	表 2	
富士国立公園に就て	岸衛述	一
富士国立公園座談会に出席して（二）	長田登雄	二
仙石原にて	塩川孝	四
でゆの伊豆	芝つゆ子	四
富士山雑話 一般的文学に於て（六）	大中空峰	五
秋雨会俳句	日吉白夜選	七
岳麓に動く人々		
新橋区長 後藤甚五郎氏の横顔	黒頭巾	八
横走駅及横走関（下）	天野隆義	九
二区の政戦絶頂期	宮沢生	一二
肅正ゴシツブ		一三
木霊に見込まれた女	壺鳴庵	一四
からたちやの親父はかく語る		一六
北駿地方に於ける蔬菜私見（上）	戸塚静	一九
山麓の人々へ	加藤英男	二二
紙屑籠		二二

田代徳太郎翁を悼む	二三
会員消息・寄贈書籍・編輯後記	二四
野火のけむり	苔郎…表 4

昭和 11 年 2 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 第二十九号 第四年 三月号』

早春の富士（東山湖）	表 1
春日灯籠めぐり（二）	表 2
春のハイキング	一
富士国立公園座談会傍観録	鈴木重徳…二
（秋雨会戯作）遠山雪	編輯部推薦…四
『麓醜草』と北駿一部の明治文学	鈴木信夫…五
上巳 雛…桃…の節句	七
岳麓に動く人々	
小山第一小学校長 吉見一夫氏の横顔	黒頭巾…八
岳麓ニュース	一〇
岳麓の名勝史蹟（十六）清水村之部	長田登雄…一二
新代議士山崎劍二君へ	加藤英男…一五
からたち屋の親父はかく語る	一六
北駿地方に於ける蔬菜私見（中）	戸塚静…一八
おめかけ列伝	イエス・ハレルヤ…二〇
親殺し 獄道五郎助	壺鳴庵…二二
社告	二四
会員消息・寄贈書籍・会費領収通知・	
新会員紹介・編輯後記	二四
雪のかがやき	苔郎…表 4

昭和 11 年 3 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 第三十号 第四年 四月号』

二の岡の桜	表 1
春日灯籠めぐり（三）	表 2
掌	一
昭和維新は精神維新から	松本介山述…二
『麓醜草』と北駿一部の明治文学	鈴木信夫…五

秋雨会俳句	七
岳麓に動く人々	
印野村長 勝間田芳衛氏の横顔	八
岳麓ニュース	一〇
岳麓の名勝史蹟（十七）大平村之部	一二
富士裾野 陸軍廠舎建設の頃を語る（七）菅沼武男	一四
からたち屋の親父はかく語る	一六
籠坂越	一八
北駿地方に於ける蔬菜私見（下）戸塚静	一九
祭の宵です 富原薰	
どんどん橋小橋 富原薰	
家路 岩田安太郎	二一
野狐綺談 汽車への戯れ 鈴木重徳	二一
社告	二四
会員消息・寄贈書籍・会費領収通知・編輯後記	二四
けぶる雨	苔郎 表4

昭和 11 年 4 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 第三十一号 第四年 五月号』

御殿場航空灯台	表 1
春日灯籠めぐり（四）	表 2
罪は何れに！	一
昭和維新は精神維新から（二）	松本介山述 二
『麓醜草』と北駿一部の明治文学（三）	鈴木信夫 五
田植	岩田安太郎 七
山麓より	疎竹生 八
御断り（岳麓に動く人々本号休掲）	九
岳麓ニュース	一〇
岳麓の名勝史蹟（十八）静浦村之部	長田登雄 一二
マウセンゴケの保存を望む〔モウセンゴケ〕	土屋又一郎 一四
原里村土壤酸土検定に就て	芹沢柳雄 一五
ふもと	土井徳二 一六
隨筆 五月裾野二題	鈴木重徳 一七
伊東の半日	塩川孝 一八
早春	芝つゆ子 一八
からたち屋の親父はかく語る	一九
故陸軍歩兵曹長歎七等湯山晋君略歴	二〇

読者の声	二一
早乙女お小夜	壺鳴庵 二一
社告	二一
会員消息・寄贈書籍・会費領収通知・	
新会員紹介・編輯後記	二四
惜春譜	苔郎 表 4

昭和 11 年 5 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 御殿場口とその附近 富士山号外』

すゞ風かほる東山湖	表 1
富士開山を迎えるに当り 富士登山御殿場口営業組合長 鈴木市太郎	表 2
富士登山と下山の御殿場口	1
◇理想的な御殿場口登山プラン	5
御殿場附近名所廻り [地図]	8 ~ 12 [9 ~ 10 が欠落]
◇御殿場附近の名勝史蹟	13
[御殿場駅からの里程・徒歩所要時間]	15
御殿場駅時刻表	16
富士山御殿場音頭	表 3
社告	表 3

昭和 11 年 6 月 1 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

[表 2、1 ~ 7 ページ、12~14 ページの第 1 段か第 3 段は、関連写真と広告で埋められており、表 4 も全面広告である]

[この号外は復刻版に収録されていない]

■ 『富士山 第三十二号 第四年 六月号』

乙女峠の富士	表 1
春日灯籠めぐり (五)	表 2
愉快なる衝動	一
昭和維新は精神維新から (三)	松本介山 二
足柄山 (峠) の文化史的考察	岩田栄次郎 五
岳麓に動く人々 節婦 土屋千代女の横顔	黒頭巾 八
岳麓ニュース	一〇
小山町議戦の展望	駿河大郎 一二
古郷の追憶	田代隆徳 一四

岳麓の名勝史蹟（十九）大岡村之部	長田登雄	一五
旅中の史家の書簡〔橘正隆〕		一八
からたち屋の親父はかく語る		二〇
裾野怪奇 夜霧の幻想	鈴木重徳	二二
御厨のわたくし雨	土屋又一郎	二三
社告		二四
会員消息・寄贈書籍・会費領収通知・		
新会員紹介・後援費寄附受領通知・編輯後記		二四
初夏明澄	苔郎	表 4

昭和 11 年 6 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 第三十三号 第四年 七月号』

県社須走浅間神社		表 1
春日灯籠めぐり（六）		表 2
うちば		一
昭和維新は精神維新から（四）	松本介山述	二
『麓醜草』と北駿一部の明治文学（四）	鈴木信夫	五
廃れ行く北駿地方の田植歌	林苔郎	八
岳麓ニュース		一〇
原史時代の足柄山		
一足柄山（峠）の文化史的考察一（二）	岩田栄次郎	一七
岳麓の名勝史蹟（二十）金岡村之部	長田登雄	一五
七夕		
坂道	岩田安太郎	一九
からたち屋の親父はかく語る		二〇
乙女峠と孝子	鈴木重徳	二二
会員消息・寄贈書籍・		
新会員紹介・会費領収通知・編輯後記		二四
疎竹搖影	苔郎	表 4

昭和 11 年 7 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

■ 『富士山 第三十四号 第四年 八月号』

存続？廃刊？危機に直面して得たる光明号		
各位の郷土愛に訴ふ	林苔郎	

暑中御伺ひ申上候 富士山編輯 田原林太郎
経営難に逢著した私の告白 雅号 林苔郎
会員消息 表 3
昭和 11 年 8 月 15 日発行
発行編輯兼印刷人 田原林太郎
発行所 北駿郷土研究会

■『富士山 第三十五号 第四年 九月号』
小山町公時公園 表 1
春日灯籠めぐり（七） 表 2
更生への第一歩……………日吉白夜……一
『麓醜草』と北駿一部の明治文学（五） 鈴木信夫……二
岳麓ニュース……………六
再び日本武尊の御通路について
一足柄山（峠）の文化史的考察……………岩田栄次郎……八
自嘲漫語……………加藤英男…一〇
岳麓の名勝史蹟（廿一）愛鷹村之部……………長田登雄…一一
趣味の人々……………長田一八子…一四
展望台 八月分……………一五
郷土小品二題……………土屋又一郎…一五
御厨蘇峰会発会式に参じて……………宮原薰…一八
所謂小富士争ひの検討（上） 林苔郎…一九
和田の森……………鈴木重徳…二二
加藤玄智博士の風懐・社告・本会役員……………二二
特別賛助会員・新会員紹介・
会員消息・寄贈書籍・会費領収通知・編輯後記……………二四
涼一味……………苔郎…表 4
昭和 11 年 9 月 15 日発行
発行編輯兼印刷人 田原林太郎
発行所 北駿郷土研究会

■『富士山 第三十六号 第四年 十月号』
朝日輝く田園の富士 表 1
春日灯籠めぐり（八） 表 2
天地に恥づる心……………日吉白夜……一
自治振興に就て……………鈴木重徳…二
岳麓の名勝史蹟（廿二）浮島村之部……………長田登雄…四

清見寺より	日吉嘉以智	八
常識 オリムピック物語	覆面子	九
岳麓ニュース		一〇
北駿の馬鈴薯栽培について	勝亦豊	一二
趣味の人々	勝又桔梗子	一五
ねずみと友食ひ	土屋又一郎	一五
展望台 九月分		一五
御殿場校歌制定	富原薰作詞	
	平岡均之作曲	一七
短歌 秋の道	加藤英男	一八
富士の山から御厨見れば	壺鳴庵	一九
天子ヶ岳	鈴木重徳	二一
会員消息・寄贈書籍・		

会費領収通知・会員異動・編輯後記……………二四
月明の秋……………苔郎…表 4

昭和 11 年 10 月 15 日発行

発行編輯兼印刷人 田原林太郎

発行所 北駿郷土研究会

[終刊]